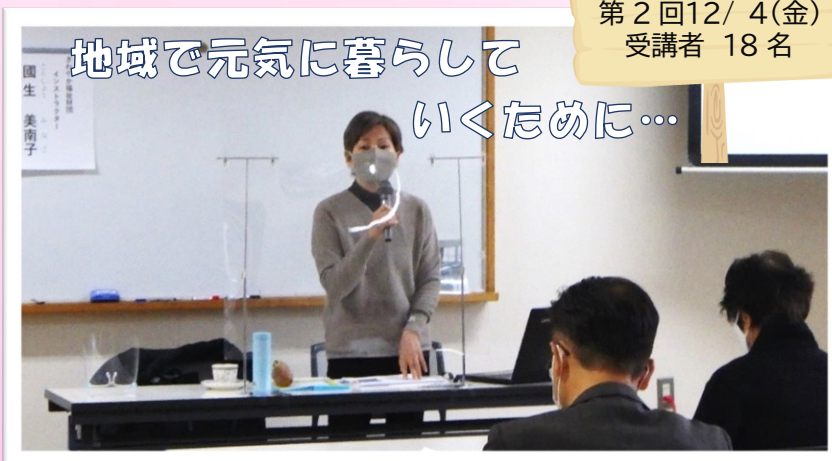


「人生100年時代に備えた助け合いの地域づくり」を学ぶ

居場所(集いの場)づくりボランティア養成講座を開催

人生100年時代、私たちは少子高齢社会に生きています。「このままでは、介護サービスを受けられない人(介護難民)が続出そう!だから出来るだけ私たち自身が元気でいられるために、ボランティアをしていきたい。本当に具合が悪くなった時に介護保険は使いたい。」そんな思いから、住民同士が地域で支え合う活動が増えてきているそうです。他市町村の活動事例を紹介していただきました。



地域で元気に暮らしていくために...

第1回 11/27(金)
第2回 12/ 4(金)
受講者 18名



参加者でハンドベル体験!!

2日目の講義では、基本的な傾聴方法と、病気・不安・差別から生まれる感染症との戦い方を学びました。また、子ども食堂代表として実際に活動されている講師からは、たくさんの活動風景の写真と体験談にリアリティがあり“気が付いたらそれぞれの役割と生きがいに繋がっていた”ということが深く心に残りました。このコロナ禍がいつまでどのように続くか不明瞭な時代に、地域での居場所づくりの担い手はさらに必要になっていくと思われます。今回学んだことを土台に活動が広がり、ひとりでも多くの方が地域とつながる社会になることを期待したいです。



「中台6丁目スマイルの会」が誕生しました!

この講座終了後にできた新しいボランティアグループを紹介します。代表の森さんは、社会福祉や地域コミュニティを学んでいる大学生です。講座の受講者であった自治会長と協力してグループを立ち上げ、地域の方が気軽に交流できる居場所として、中台6丁目の集会所で《地域のお茶の間》を開催しました。出入り自由のフリースペースとして、お茶を飲みながらおしゃべりをしたり、卓球をしたり...小学生から80代の方までが参加されたそうです。子ども達の遊ぶ様子を見ていたひとり暮らしのお年寄りから「こういう場は見ただけで元気がでる」という言葉をいただいて「とても嬉しかった!開催して良かった」と森さんは話しています。

さまざまな世代の方々が力を合わせて、地域を住みやすい場所に“元気に”していこうとするこうした活動は、とても頼もしく、今後の活躍が楽しみです。



～地域で交流できる場を～

病気

不安

差別

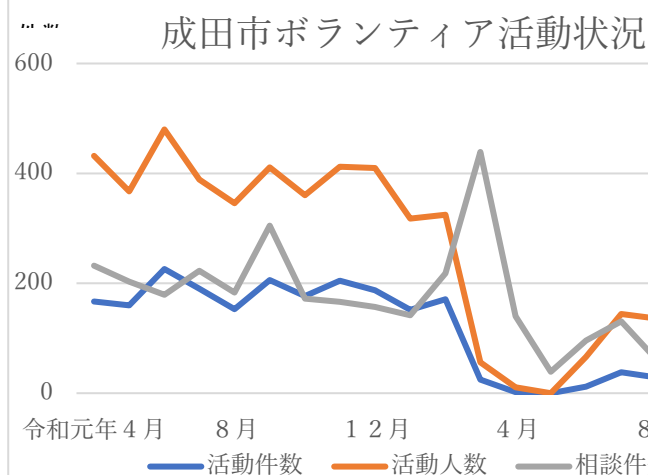
新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
～負のスパイラルを断ち切るために～



新型コロナウイルス感染症が拡大しています。感染すると重症化して肺炎を起こすことがあります。分からないことが多いため不安や恐れを感じてしまいます。不安や恐れは特定の人、地域、職業に対して差別や偏見が起こります。差別的な言動に同調しないようにしましょう。確かな情報を広めましょう。差別を受けるのが怖くて熱や咳があっても受診をためらうことが起こるかもしれません。持病がないし、若いから感染しても大丈夫？あなたは大丈夫でも相手は大丈夫ではないかもしれません。このウイルスとの戦いは長期戦になるかもしれません。私たちは今まで通り手指の消毒、マスク着用、人混みを避ける等感染予防をしながらそれぞれの立場でできることを行い、ともに乗り越えましょう。

コロナ禍でのボランティア活動について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、人と人をつなぐボランティア活動が思うように行えない日々が続いています。（グラフ参照）しかし、「こんな時期だからこそ自分に何かできないか」と考えられる方からの相談も多く受けます。一日も早く安心してボランティア活動ができる日が来ることを願い支援を続けていきます。



ボランティア登録更新のお知らせ

令和2年度の登録は3月31日で終了となります。登録をしている方は郵送でお送りした更新の書類をご覧になり、所定の手続きをお願いします。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、窓口対応を一部予約制にし、郵送での手続きを受け付ける等、拡大防止対策を行っております。ご来所の際は、検温、手指消毒、マスク着用等ご協力をお願い致します。

ボランティア保険について

令和2年度より特定感染症の補償対象に新型コロナウイルス感染症が追加になりましたが、新規で加入する場合は保険期間からその日を含め10日以内に発病した場合は保険金が支払われません。3月26日までに更新と同時に保険加入手続きをしない方は、新規扱いになりますのでご注意ください。

『エコキャップ収集』 休止のお知らせ

感染症予防対策として、保健福祉館内ボランティアセンターでのペットボトルキャップのお預かりを当面の間休止させていただいております。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

*詳細はボランティアセンターへ
TEL 0476-27-8010